

【全国初*1】SDGsを(で)学んだ生徒のアイデアを形に。 トイレットペーパーを「FSC®認証紙」にします!

2018年11月19日
【世界トイレデー*2】

光ヶ丘女子高等学校は、国連総会が2015年に全会一致で採択した2030年までの国際目標SDGs [持続可能な開発目標] に貢献する取り組みの一環として、2019年1月より校内で使用するすべてのトイレットペーパーを「FSC®認証紙」にします。

FSC®とは、Forest Stewardship Council® [森林管理協議会/本部・ボン (ドイツ)] のことで、世界の木材を生産する森林と、その森林から産出した木材の流通・加工の過程を審査・認証する国際機関です。認証は、森林の環境保全に配慮し、労働者の権利や安全が守られ、先住民族の権利を尊重し、地域社会の権利を守り、さらに経済的にも継続可能な形で生産された木材とその製品に与えられます。

現在、本校では、SDGsに貢献する学びや活動をひろげる取り組みをすすめています。この取り組みは、生徒会役員の学習会の中からうまれたアイデアを形にしたものです。

SDGsの目標15の「陸の豊かさを守ろう」のほか、貧困、飢餓、男女平等、安全な水、クリーンなエネルギー、労働環境、責任ある生産活動と消費活動、気候変動、平和と公平、パートナーシップ (それぞれ、目標1, 2, 5, 6, 7, 8, 12, 13, 16, 17に対応) に関する目標についても、その達成に貢献するものです。

また、今回新たに導入するトイレットペーパーのメーカーである王子ネピアは、ユニセフ [国連児童基金] への寄付や、WWF ジャパン [世界自然保護基金] とのライセンス契約などの社会貢献活動も行っており、今回の「FSC®認証紙」導入の取り組みも、こうした活動につながるものです。



*1「ユニセフとWWFに貢献するFSC®認証紙のトイレットペーパー「asmori」を導入する学校」は、女子校として全国初となります (「asmori」王子ネピア直販ルート、2018年11月現在/王子ネピア調べ)。

*2「世界トイレデー」は、社会起業家のJack Sim氏が、2001年11月19日に「世界トイレ機関/WTO ; World Toilet Organization」を設立したことに由来し、2013年には11月19日を「世界トイレデー」とすることが、国連総会で満場一致で認められました。2013年以来、世界の (とくに女性と少女に関する) トイレ事情とこれに関連するメッセージを全世界に向けて訴えかけています。